

【主な内容】

- 炭火のように持続的かつ多様でそして伝播していく学習者中心の学びを大切にしていきたい。
- ウェルビーイングの構築に向けた学校の役割として、子どもや教師の成長に伴走できる環境を設計したい。また多様な他者を受け入れ、共に創ることが大切ではないか。
- ウェルビーイングを重視したカリキュラムを導入することが必要ではないか。
- 安全で支援的な環境を作るために、何でも言えたり、チャレンジしやすかったりして心理的安全性を整えることが必要ではないか。
- カリキュラムを柔軟に考え、不登校児童生徒に対しても自己決定権や選択権を持たせられるような学校にしていけたらよいのではないか。
- 職員室の雰囲気を明るくし、職員を大切にできる教頭が人材育成に資するのではないか。



ウェルビーイングの構築に向けた学校の役割

子供にとっても教師にとっても魅力ある学校を目指して

共創と協働探究
子供の成長、教師の成長に伴走できる関与と環境設計
「推し活」のように得意や好きを追究

共創と多様性
プロセスをオープンにし、学びに参画し、
アイデアを持ち寄る。
多様な他者を受け入れ、共に創る



②質疑応答 16:25~16:40

【主な内容】

- 教頭は勇気がくじかれてしまう瞬間もあるだろうが、仲間とシェアすることが大切である。
- チームを意識して抱え込まないことで超過勤務も解消できていくのではないか。

③謝辞 (全公教・西田副会長)

(4) 閉会行事 16:40~16:45

- 諸連絡 ○アンケート記入

オンデマンド研修

期間:2月7日~3月31日
全公教ホームページ
会員ページよりアクセス